

Dory v2.01 更新情報

作成日 : 2010/2/21 4:34 PM

最終版 : 2016/05/04 4:27 PM

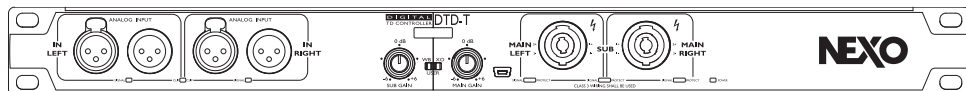
作成者 : JCARCOPINO

Dory の説明

Dory は、USB コントロールポートを搭載した NEXO 機器用のリモートコントロールソフトウェアです。本書の執筆時において、Dory と互換性のある NEXO 機器は Digital TDcontroller (DTD) のみです。

Dory と DTD の機能

DTD は外部リモートコントロールソフトウェアなしでも使用できますが、適切なスピーカーセットアップを選択するために、少なくとも 1 回は Dory を実行しているコンピューターに DTD を接続する必要があります。



DTD は、フロントパネルにコンピューター接続用の mini-USB ポートを備えています。

スピーカーおよびサブの選択

Dory v2.01 で使用可能なスピーカーセットアップは以下のとおりです。

Flat スピーカープリセット

- EQ およびプロテクションなしの Flat プリセット

ID Series (FOH 用途向けの「Main」モード)

- ID24 90x40、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー
- ID24 120x40、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー

NEXO SA <http://www.nexo-sa.com>

Parc de la Dame Jeanne 60128 PLAILLY

Tel : +33 3 44 99 00 70 Fax : +33 3 44 99 00 30

S.A. au capital de 1 063 569 € R.C.S SENLIS 317 272 540 - SIRET 317 272 540 00046 APE 2630 Z

- ID24 60x60、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー
- ID24 120x60、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー

ID Series (フロントフィル用途向け「Front」モード)

- ID24 90x40、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー
- ID24 120x40、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー
- ID24 60x60、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー
- ID24 120x60、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー

ID Series (モニター用途向け「Monitor」モード)

- ID24 90x40、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー
- ID24 120x40、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー
- ID24 60x60、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー
- ID24 120x60、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー

ID Series (ラウンジでの用途向け「Lounge」モード)

- ID24 90x40、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー
- ID24 120x40、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー
- ID24 60x60、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー
- ID24 120x60、95 / 120 / 150Hz クロスオーバー

PS Series

- PS8、70 / 85 / 120Hz クロスオーバー
- PS10R2、70 / 85 / 120Hz クロスオーバー
- PS15R2、50 / 85 / 120Hz クロスオーバー

- PS10 (第1世代)、70 / 85 / 120Hz クロスオーバー
- PS15 (第1世代、パッシブモード)、50 / 85 / 120Hz クロスオーバー

GeoM6 Series

- GeoM6 (x1 スタンドアローン)、70 / 85 / 120Hz クロスオーバー
- GeoM6 (x2~x3 クラスタ)、70 / 85 / 120Hz クロスオーバー

GeoM10 Series

- GeoM10 (x1 スタンドアローン) 、
63 / 75 / 85 / 95 / 120Hz クロスオーバー
- GeoM10 (x2~x3 クラスタ) 、
63 / 75 / 85 / 95 / 120Hz クロスオーバー
- GeoM10 (スタックモニター) 、63 / 75 / 85Hz クロスオーバー

Dory v2.01 で使用可能なサブセットアップまたはバスキャビネットセットアップは以下のとおりです。

Generic Sub

- 40~85Hz クロスオーバー、プロテクションなしの Generic Sub プリセット

IDS Series

- IDS110、40~85 / 40~120Hz クロスオーバー

LS Series

- LS400、40~85 / 40~120 / 60~120Hz クロスオーバー
- LS600、40~85 / 40~120 / 60~120Hz クロスオーバー
- LS18、35~85 / 35~120Hz クロスオーバー

- LS500、35~85 / 35~120Hz クロスオーバー
- LS1200、35~85 / 35~120Hz クロスオーバー

GeoM6 Series

- GeoM6B (x1 スタンドアローン) 、
70~180 / 85~180Hz クロスオーバー

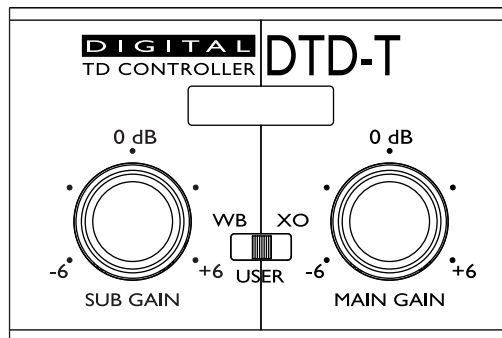
MSUB15 Series

- MSUB15 無指向性セットアップ、40~63 / 40~75 / 40~85 / 40~95 /
40~120Hz クロスオーバー

セットアップを DTD にダウンロードしたら、DTD をハードウェアモード (コンピューターなしの意味) で使用できるようになります。そのためには、フロントパネルスイッチを「WB」または「XO」ポジションに設定します。

ハードウェアモードまたはソフトウェアモードでの DTD の使用

フロントパネルスイッチを使用してハードウェアモードを変更します。



- **スイッチが「WB」（広帯域）ポジションにある場合:**
 - メインキャビネットの帯域は最大になります。
 - サブキャビネットのクロスオーバー値はデフォルト値になります。

この場合、メインとサブ間のオーバーラップによって、低域の出力が上がりますが、メインスピーカーからの最大の音圧レベルが制限されます。

- **スイッチが「XO」（クロスオーバー）ポジションにある場合:**
 - メインキャビネットのクロスオーバー値はデフォルト値になります。
 - サブキャビネットのクロスオーバーポジションはデフォルト値になります。

この場合、オーバーラップはなく、メインスピーカーから最大音圧レベルを出力可能です。

これらのポジションでは、クロスオーバーポイントを除く DTD 内部のすべての設定はデフォルト値に設定されます。ただし、フロントパネルのノブを使用して、サブとメインのゲインを調節できます。

- **スイッチが「USER」ポジションにある場合:**

この場合、DTD 内部のすべてのパラメーター（Input patch、Gain、Delay、User EQ、User compressor など）を調節できます。フロントパネルのノブやソフトウェアを使用して、ゲインを調節できます。

Dory のインストール

Dory はマルチプラットフォームソフトウェアとして開発されており、Windows コンピューター、Mac コンピューター、Linux コンピューター、および Android デバイスで実行できます。

Dory v1.12 以降では、新しいバージョンが入手可能になると通知が表示されます（インターネットへの接続が必要です）。

Windows 版

インストーラーを NEXO Web サイトからダウンロードしてください。

Windows 7/8/10 が実行されているコンピューターで、インストーラーファイル DorySetup_x86_2.01.exe をダブルクリックして Dory をインストールします。

エラーメッセージなしでインストールが完了したら、Dory を使用できます。

Mac 版

インストーラーを NEXO Web サイトからダウンロードしてください。

Mac OS X 10.6 (Snow Leopard) 以上が実行されているコンピューターで、インストーラーファイル Dory_2.01.dmg をダブルクリックして Dory をインストールします。

エラーメッセージなしでインストールが完了したら、Dory を使用できます。

Android 版

Google Play にアクセスし、「Dory」を検索してください。認証要求を承認し、アプリをダウンロードします。

Dory をインストールするには、Android デバイスが OTG に対応している必要があります。お使いの Android が OTG に対応しているかは、インターネットで確認してください。

DTD と Dory の接続

接続するには以下の手順を実行してください。

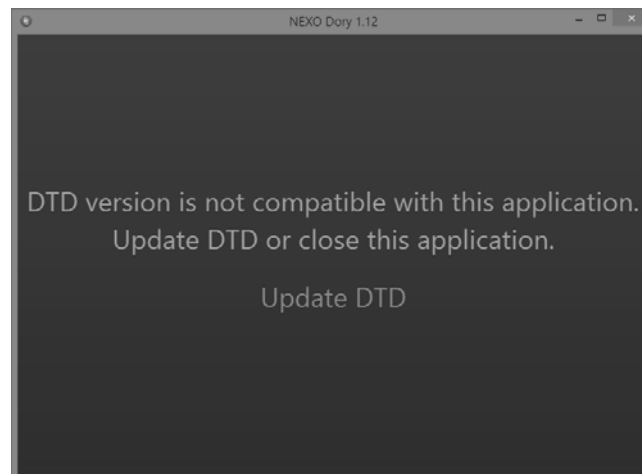
- DTD の電源プラグを接続し、DTD の電源を入れます。
- DTD 付属の mini-USB ケーブルを、コンピューターの空き USB ポートに接続します。
- Android で以下の操作を実行します。
 - OTG ケーブルを使用して Android を DTD に接続します。その後、承認要求を承認し、DTD にアクセスします。一度起動すると、次回からは DTD に接続するだけで Dory が自動的に起動します。
- OS X の場合:
 - アプリケーションフォルダー内のショートカットから Dory を起動します。
- Windows の場合:
 - 必要なドライバーがインストールされるまで待ちます。DTD は Windows にプリインストールされたドライバーのみを使用し、特別なドライバーのダウンロードは不要です。

Windows でハードウェアのインストールが正常に行なわれた旨のメッセージが表示されたら、「スタート」メニューのショートカットまたは検索バーから Dory を起動できます。

Dory の使用

DTD ファームウェアのアップグレード

Dory がコンピューターの USB ポート上に DTD を検出すると、まず機器のファームウェアバージョンを確認します。DTD 内部のファームウェアが Dory に組み込まれたファームウェアと異なる場合、以下のメッセージが表示されます。



「Update DTD」をクリックすると、機器が再起動され、Dory から機器への新しいファームウェアのアップロードが開始されます。



ファームウェアがアップロードされると、Dory のメインビューに現在のスピーカーのセットアップが表示されます。セットアップを選択していた場合、ファームウェアの更新後にそのセットアップに変更されます。スピーカーのセットアップが定義されていなかった場合、デフォルトで「Flat」スピーカーモードがデフォルトスピーカーのアイコン付きで表示されます。

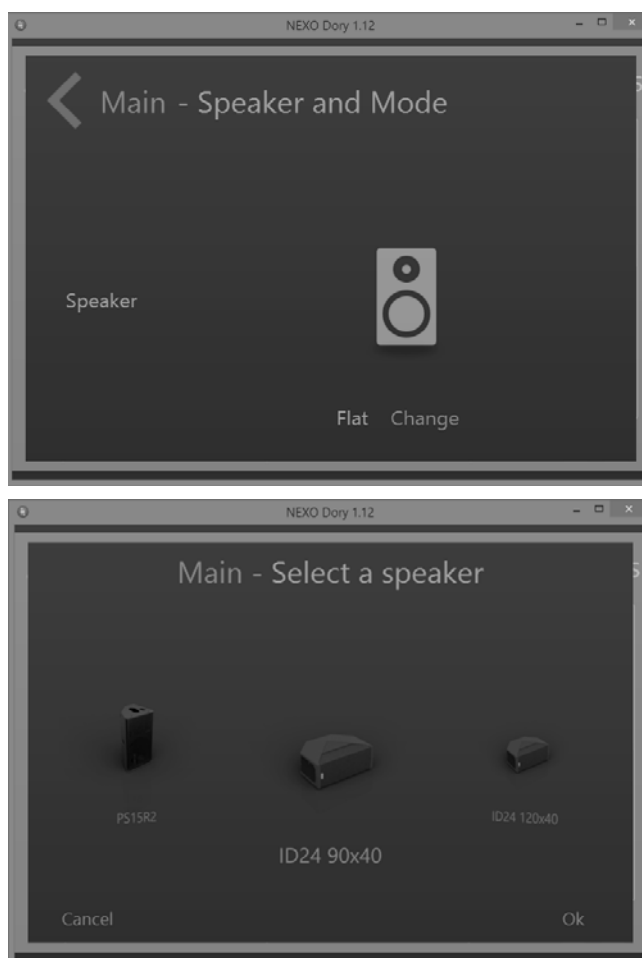


スピーカーセットアップの変更

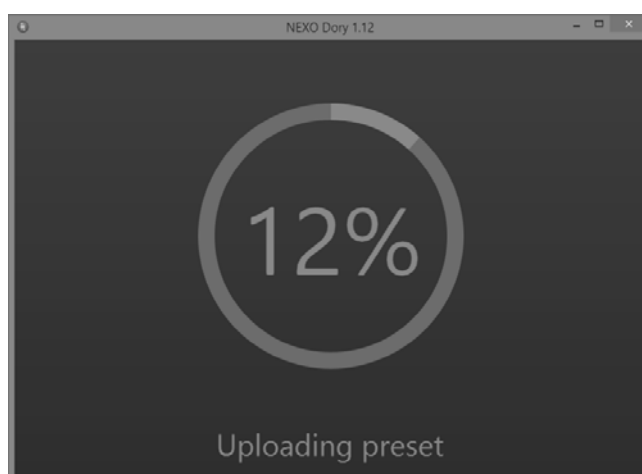
スピーカーセットアップはメインとサブで別々に変更できます。つまり、メインスピーカー（ステレオ）とサブスピーカー（モノラル）の任意の組み合わせが可能です。ただし、メインの左と右で別々のスピーカーに出力することはできません。

今回のリリースでは、デフォルトの FLAT セットアップは、デフォルトの SUB セットアップとのみ使用できます。

スピーカーアイコンをクリックしてスピーカープリセット画面を開き、「Change」を選択します。

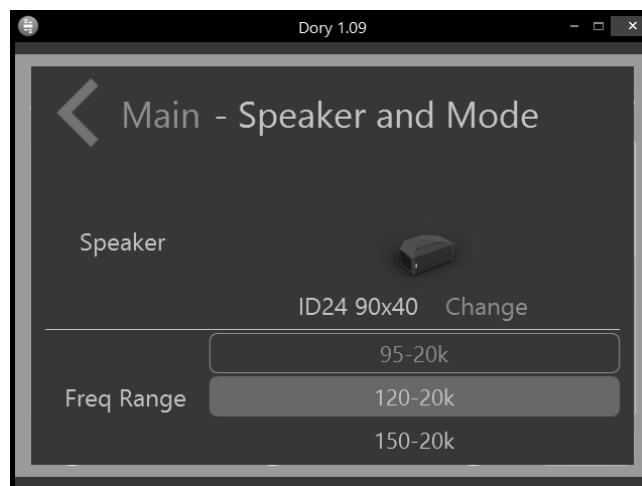


センタースピーカーを左または右にドラッグすると他のプリセットに切り替わります。選択が終了したら「OK」をクリックします。スピーカープリセットが DTD の内部メモリーにアップロードされます。



次に、選択肢のリストからクロスオーバーを選択できます（フロントパネルのスイッチが「USER」ポジションになっているかを確認してください。それ以外のポジ

ションの場合、この機能は読み取り専用になります)。



スピーカーセットアップが呼び出されたら、ソフトウェアを閉じて DTD をハードウェアモードでスタンドアロン機器として使用するか、引き続きソフトウェアモードで機器の設定を行なえます。

DTD パラメーターの変更

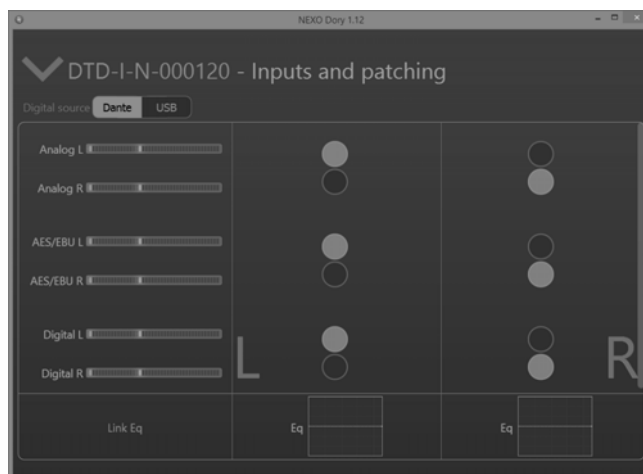
デフォルトページ

Dory のデフォルトビューでは、出力レベルの表示メーターと選択したスピーカーを確認できます。他の 3 つのページには、画面上部の DTD 名の横にあるロゴ (下図で囲まれた箇所) をクリックして移動できます。



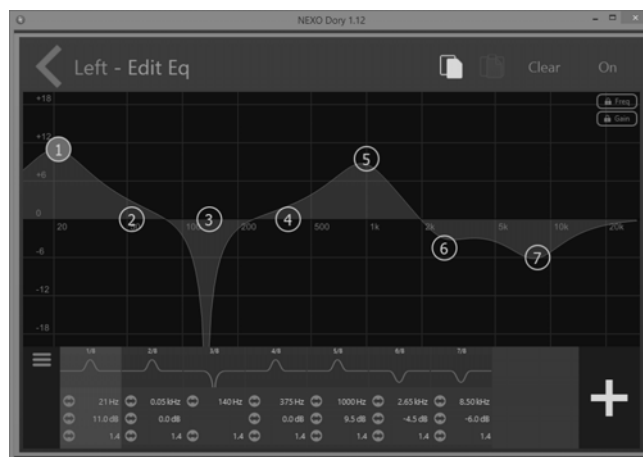
「Inputs and patching」 ページ

最初のショートカットをクリックすると、入力設定のページが開きます。



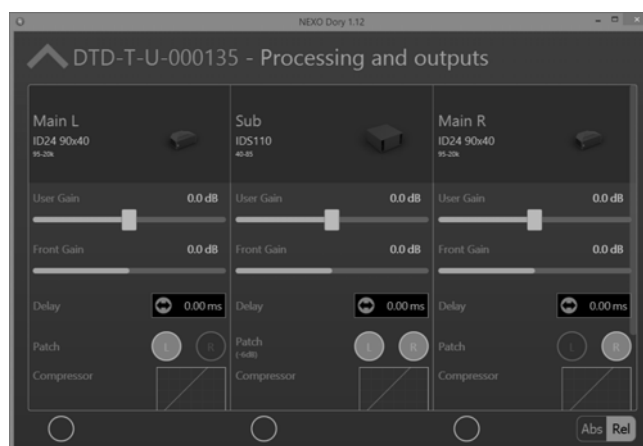
このページでは、以下の調節を行なえます。

- すべての入力の**入力メーター**（DTD は Windows で USB サウンドカードとしても検出されるため、「Digital L/R」は USB オーディオ入力を表わします）
- 物理入力から内部の L/R プロセッシングチャンネルへの**入力パッチ**
- **User EQ**（ステレオ 8 バンドフルパラメトリック EQ）。「Link Eq」を使用して両方のチャンネルを編集できます。
- デジタルソースを選択するための**デジタルスイッチ**（Dante のみ）

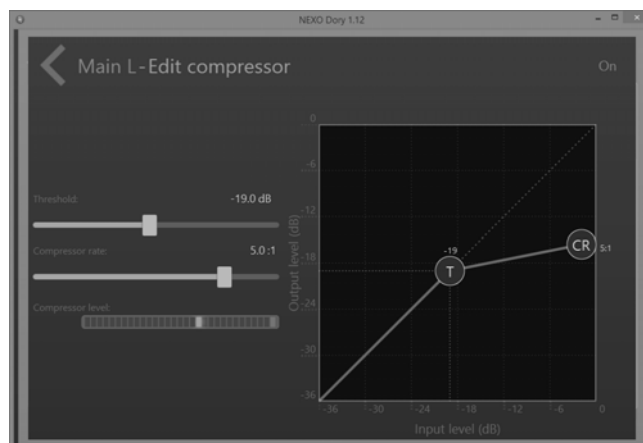


「Processing and outputs」 ページ

2 番めのショートカットをクリックすると「Processing and outputs」 ページが開きます。このページでは、3 つの出力設定を行なえます。



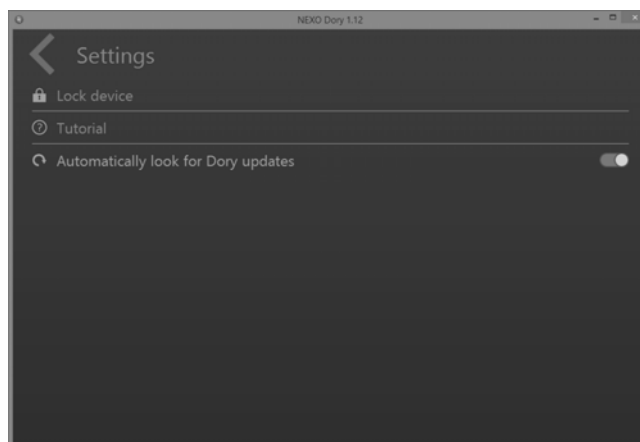
- スピーカータイプとクロスオーバー
- -18 dB ~ +18 dB でのゲイン
- フロントパネルノブのリードバック (DTD-T モデルの場合)
- ユーザーディレイ (ms、m、または ft) (単位をクリックして変更)
- プロセッシングチャンネルから出力へのパッチ (出力ごとに L / R または (L+R) を選択)。「L+R」を選択すると、自動的に -6 dB のゲインが内部的に適用されます。
- ユーザーコンプレッサー。このコンプレッサーを設定すると、Nexo の内部プロテクションに優先して、出力レベルを制限できます (たとえば、スピーカーの出力レベルを特定の音圧レベルに制限します)。



ゲイン、ディレイ、およびユーザーコンプレッサーには、画面の一番下にある丸い選択ボタンを使用して、複数のチャンネルでパラメーターを同時に調節できます。必要に応じて、選択ボタンの横にある「Abs/Rel」スイッチを切り替えます。

「Settings」 ページ

3 番めのショートカットをクリックすると、設定ページが開きます。



- 「Lock device」機能を使用すると、PIN コードで機器をロックできます。このコードは、機器の設定を編集する前に入力が必要です。
- 機能の詳細については、チュートリアルを確認してください。
- 自動的にソフトウェアの更新を検索し、新しいバージョンがリリースされると通知します。

Dory に関するフィードバック

今回のリリースに関するみなさまのフィードバックをお待ちしています。フィードバックは、Eメールの件名に[Dory]を入れて technical@nexo.fr までご連絡ください。

更新履歴

Dory v2.01

NXAMP プロセッシングに合わせてスピーカープロセッシングを最適化しました。

センスケーブルの問題を検知および回避するよう、アンプセンスコントロールを最適化しました。

アナログ入力または AES 入力（ゲインおよびディレイの）を使用するときの NXAMP と DTD 間の互換性を最適化しました。

要件：ディレイへの互換性が必要な場合、手動で NXAMP に 0.14 メートルのディレイを加える必要があります。

Dory からスピーカーへのロードが迅速化（Dory 1.12 と比較）しました。

-60 dBFS までの範囲の新しいコンプレッサースレッシュホールドを追加しました。

各出力のディレイが最大 190ms になりました。

各指向特性に対する新しい ID24 セットアップ（Main、Front、Monitor、および Lounge）を追加しました。

新しい GeoM10 セットアップ（1 台、2~3 台、スタックモニター用）を追加しました。

新しい MSUB15 セットアップ（無指向性およびスタックモニター用）を追加しました。

M6B セットアップを追加し、「Sub」チャンネルにロード可能になりました。

2.01 で Dory の DTD がアップデートされた後、NEMO を使用したネットワーク全体のリモートコントロールが使用可能になりました。

Dory v1.12

プリセットのアップロード時に発生する偶発的な不具合を修正しました。

ソフトウェアモードのフロントゲインコントロールを追加しました。

USB オーディオストリーミング中に通信が遅くなる問題を修正しました。

Windows のデュアルスクリーンの不具合を修正しました。

ファームウェア/プリセットのアップロード速度が向上しました。

EQ コントロールにコピー/貼り付け/リンク編集機能を追加しました。

ユーザーコンプレッサーコントロールにリンク編集機能を追加しました。

フロントゲインのリードバックを追加しました。

新しいバージョンを通知する機能を追加しました。

Dory v1.11

レガシーの PS/LS Series のサポートを追加しました。

IDS110 サブウーファースの位相の不具合を解決しました。

すべてのセットアップのプロテクションレベルを見直しました。

すべてのセットアップで EQ 設定を微調整して、NXAMP の応答に合わせました。

既知の問題: Windows コンピューターで USB オーディオストリーミングを再生すると歪みが生じ、リモートコントロールの処理速度が低下する可能性があります。

Dory v1.09

「WB」（広帯域）と「XO」（クロスオーバー）のスイッチの不具合を解決しました（ハードウェアモード）。

Dory v1.08

PS および LS のサポートを追加しました。

Dory v1.07

最初の公式リリース。ID24 および IDS110 のみサポートします。